

氏名	俣 野 栄		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 3 0 号		
学位授与の日付	昭和37年6月6日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	実験的てんかん症としてのビタミン B ₆ 欠乏マウス脳の 生化学的研究		
論文審査委員	教授 陣内伝之助	教授 水原舜爾	教授 奥村二吉

学 位 論 文 内 容 要 旨

E₆ 欠乏マウス大脳皮質の生化学的研究を行い、E₆ 欠乏食投与による慢性 E₆ 欠乏の場合も、E₆ 拮抗剤である Desoxypyridoxine 静注による急性欠乏の場合にも、Ch. E 活性の低下が認められること、慢性欠乏の場合には Na, K 含有量に有意差はないが、急性欠乏のさいには Na の増加 K の減少が認められること、さらに E₆ 欠乏食で飼育したマウスでは大脳皮質自由水の増加が認められることなどを明らかにした。

さらにイオン交換カラムクロマトグラフィーによるアミノ酸分析定量法により、E₆ 欠乏マウス大脳皮質遊離アミノ酸の中で glutamic acid の著明な増加がみられること、慢性欠乏では glycerophosphoethanolamine および phosphoethanolamine の増加がみられること、急性欠乏症では glycine, alanine, valine の増加があること、cystathionine は E₆ 欠乏では増加がみられることなどを究明するとともに、人の真正てんかん脳大脳皮質遊離アミノ酸分析と E₆ 欠乏マウス脳の分析とを比較した結果、E₆ 欠乏症の脳とてんかん患者の脳とは生化学的に類似性がないという結論に達した。

(岡山医学会雑誌：73巻1, 2, 3合併号に発表予定)

論文審査の結果の要旨

侯野栄提出の「実験的てんかん症としてのビタミン B₆ 欠乏マウス脳の生化学的研究」に関する学位論文につき審査した結果の要旨は次の通りである。

本研究はビタミン B₆ 欠乏食で飼育した慢性ビタミン B₆ 欠乏食で飼育した慢性ビタミン B₆ 欠乏マウスとビタミン B₆ 拮抗剤たる Desoxypyridoxine を静注して急性につくったものにつき、之が人のてんかん症と如何なる差異があるかを知るべく生化学的研究を行った。その結果、Na, K の含有量、含水量の点では差はないが、Cholinesterase 活性値が明らかに低下していることを知り、この点人のてんかん脳ではむしろ上昇しており、明らかに逆の態度を示すことを知った。また脳内遊離アミノ酸についてみるに、グルタミン酸の著明の増加、Glycerophosphoethanolamine, Phosphoethanolamine 及び Cystathionine の増加がみられ、急性のものでは alanine, Glycine, Valine の増加が認められ、*r*-aminobutyric acid は有意の差がなく、これらの点で人のてんかん脳とはかなり違った組成をもっておることを知った。

すなわち、従来実験的てんかん症と考えられていたビタミン B₆ 欠乏マウスは生化学的にみて本質的に人のてんかんとは異ったものであることが、本研究により明らかとなった。

以上の通り本論文は新しい知見に富み、学術上有益であり、著者は医学博士の学位を授与せられるべき学力を有するものと認める。